

2019年11月5日
株式会社 TST エンタテインメント

11/17（日）いとうせいこう×廣木隆一 ホストクラブで歌舞伎町について語る！

「HELLO KABUKICHO vol.1」トークイベント

株式会社 TST エンタテインメントと歌舞伎町商店街振興組合は、歌舞伎町の魅力を各方面で活躍するゲストに語ってもらうトークイベントを始めます。

The poster features a light blue background with a white dotted pattern. On the left, a photo of Ito Sei-ko is shown with a vertical yellow label 'いとうせいこう'. On the right, a photo of Hiroki Takagi is shown with a vertical yellow label '廣木隆一'. The central text reads: '2019.11.17(SUN)', 'HELLO KABUKICHO', 'VOL.1', and '~歌舞伎町とわたし~'. The text is in various colors (blue, yellow, black) and fonts.

ちょっとドキドキするイメージの強い歌舞伎町ですが、現在では外国人観光客が多く訪れる、安全でクールなまちとして賑わっています。また、歌舞伎町は、これまでも映画・音楽・アーケードゲームなど多くのカルチャーを生み出してきた、文化の熱いまちです。

そんな歌舞伎町の魅力を、各方面で活躍するゲストに語ってもらうトークイベントが始まります！

記念すべき第1回目のゲストは、音楽・映画・演劇と各方面で活躍し、ご自身も歌舞伎町に強い思い入れがある：いとうせいこうさんと、歌舞伎町を舞台にした男女の群像劇『さよなら歌舞伎町』の映画監督：廣木隆一さん。「歌舞伎町ってこんなところ!」「こんなエピソードあります」など、まちについて語ります。

会場は、なんと営業前のホストクラブ!きらきらと輝く歌舞伎町のホストクラブで、ディープなお話をお楽しみ下さい。

※トークイベント後は、歌舞伎町のお店でゲストと話せる懇親会もごさいます。(懇親会は実費負担です。)

<イベント詳細>

日 時	2019年11月17日(日) 開場 16:00 開演 16:30 (※19:00 終了予定)
会 場	歌舞伎町 AWAKE (東京都新宿区歌舞伎町 1-2-7 歌舞伎町ダイカンプラザ星座館 B1F)
チケット料金	2,000円+500円(ワンドリンク)
定 員	40名
U R L	https://tst-ent.co.jp/mashup/event/event-003/
主 催	TST エンタテインメント/歌舞伎町商店街振興組合

<ゲスト>



いとうせいこう

1961年生まれ、東京都出身。1988年に小説「ノーライフ・キング」でデビュー。

1999年、「ボタニカル・ライフ」で第15回講談社エッセイ賞受賞、「想像ラジオ」で第

35 回野間文芸新人賞受賞。執筆活動を続ける一方で、宮沢章夫、竹中直人、シティボーイズらと数多くの舞台をこなす。

音楽活動においては日本にヒップホップカルチャーを広く知らしめ、日本語ラップの先駆者の一人である。現在は、ロロロ(クチロロ)、レキシ、DUBFORCE、いとうせいこう is the poet で活動。



廣木隆一

1982年に『性虐・女を暴く』で監督デビュー。米サンダンス・インスティテュートに留学し、帰国後に発表した1994年『800TWO LAPRUNNERS』でベルリン国際映画祭、文化庁優秀映画賞、文部大臣芸術選奨新人賞、批評家対象最優秀監督賞を受賞。2003年には『ヴァイブレータ』で一大センセーションを巻き起こし、ヨコハマ映画祭では作品賞、監督賞をはじめ、見事5部門を受賞した。人間模様を深みある演出で見事に描き上げ、2015年に歌舞伎町を舞台に『さよなら歌舞伎町』（15）を発表する。近年では『余命一ヶ月の花嫁』（09）、『軽蔑』（11）、『ストロボ・エッジ』（15）、Netflixドラマ『火花』など、話題の作品を数多く手がける。

<HELLO KABUKICHO>

歌舞伎町をもっと楽しむための無料の会員制サロンも始めました。お気軽にご参加ください！

URL：<https://tst-ent.co.jp/mashup/hellokabukicho/>